

【下水汚泥の有効活用】

コンクリートやアスファルトに囲まれ、生育空間が著しく制限されている都市緑化。そこには、肥沃で豊かな土壌を生み続けるサイクルが欠けている。問題解決のキーワードは、土壌微生物による活性化。発酵下水汚泥コンポスト「エコポエース」は、有用な微生物を多く含む有機系土壌改良資材（エコ・コンポスト）。土壌に3～10%混入することで、植物を健全に育成する土壌環境へと改善する。下水汚泥を「資源」と捉え、丹念な切り返しと温度にこだわりながら、高性能で安全な品質を生み出している。平成16年5月に建設技術審査証明書を取得（対象：都市緑化技術 番号第1601号）している。



NET22kg入り（約30リットル）

1トン・フレキシブル・コンテナ入り（1.3m³）を御用意しています

■安全

成分分析、重金属分析、その他有害物質の定期分析など、植物の育成阻害に関する試験を行うとともに、発酵の期間、温度、回数をしっかり管理しています。

■確かな品質

確かな品質に欠かせない「発酵」。その「発酵」を促すために、丹念に切り返しを行い5次発酵まで十分熟成させています。ポイントは切返しのタイミングと発酵温度。高温での発酵により、病原菌・病虫害を含まず、悪臭やべとつきのない使いやすいコンポストが生まれます。

■土壌改良効果が高い

バーク堆肥に比べ、1/3～1/5程度の使用で、土壌の養分供給、保肥力の改善が可能です。

■取り扱いが簡単

完全発酵していて、ほとんど臭いしません。べとつかず良く土壌に混ざり、保管も容易です。またバーク堆肥と比べ使用数量が減るため、置場の確保も楽になります。

■安定した供給が可能

原料（下水汚泥）の受け入れ量や生産設備が小さい工場では、一時的にでも出荷量が増えると生産が追いつかなくなります。エコポエースは、高品質なコンポストを安定供給できるように生産設備を整えています。

■エコポエース納入事例

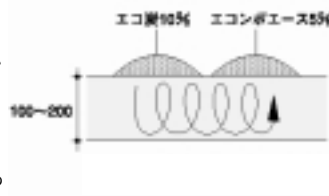


施工中の様子

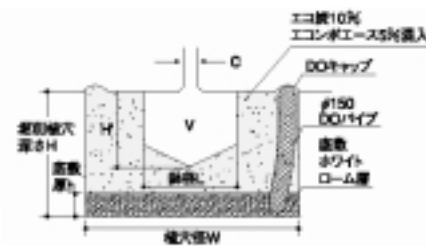


施工後

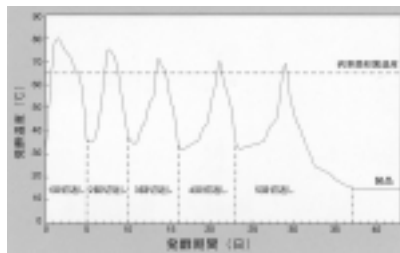
■全面改良例（芝生・地被・花）



■高木植穴改良例



■コンポスト化における発酵温度と発酵時間



■大規模堆積型発酵槽

